

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

熱中した12時間の思い 「IT講習会を終了して」



みなさ〜ん、指はやわらかく……ね。

小須戸町では平成十三年度、五月から九月末まで「IT(情報通信技術)講習会」を開きました。二十代から八十歳代まで、約三百八十名の皆さんが若い頃に戻つてのチャレンジでした。
その熱心さに応えようと講師も、アシスタントも、懇切ていねいな指導でした。
「みなさ〜ん、お疲れさまでした。」
講習会の終わりに当たつて、受講された三人の感想文を中心に、IT講習会の雰囲気や模様をお伝えします。

おそるおそるチャレンジ

●五十代女性(文京町在住)
日本各地で、IT講習の情報が流れ、その波に乗り、ま

ったく無縁の私も時間をやりくりして受講させていたただくことができました。

当初、パソコンに触れることさえ、おそるおそるの感じでおりましたが、親切ていねいな指導者の方々のお陰で、一歩一歩、ようやくなじめるようになりました。

年齢的にも、学ぶという機会が少なくなっているなか、久々に緊張感を持てたり、充実した楽しい四日間でもありました。

出来るかどうかということとは別として、一つのことに向かつて、集中してやれたことは、良い経験になったと思っています。

指導いただいた先生方、大変ありがとうございました。

インターネットやメールもやりたいな

●四十代女性(天ヶ沢在住)
初心者のためのIT講習会を町で計画しているらしいと聞きチャンスだと思いました。

こんな機会でないパソコンの用語さえ知らない私なので出来るか出来ないか心配でした。「でもやってみなければ...。」と思い、すぐ申し込みました。

四日間の十二時間コースを希望しクラスメートは四十代、七十代の女性ばかり十二名でした。

なごやかな雰囲気、講師の先生及びアシスタントの方々に手を取って教えてもらい、修了証書までいただきました。

ちょこっと一言 (163)

近ごろがんばってほくは三年生から剣道をやっています。始めたのは兄ちゃんがしてて楽しそうだったからです。
十一月三日には小須戸大会があります。しあいではあまり勝てませんが強くなるようにれんしゅ

小向
五十田裕司さん小五



老いを忘れてIT講習

●六十代男性(豊栄市在住)
実は豊栄市でも募集がありました。残念ながら抽選から外れてしまいましたが、すっかりしていたところ、小須戸町でも応募出来ると聞き申し込みました。

参加出来たものの、ただ無我夢中で親切に分かりやすく教えて下さる先生や直接助けて下さる方々(アシスタント)に大変迷惑をかけてしまいました。

しかし、なんと「IT」を理解でき、楽しく講習を受ける事ができました。

いくつになっても、チャレンジすることは自信と生き甲斐を持ち、老いを忘れます。

パソコンに触ったこともない初心者を対象にした講習会でしたが、この度の受講者に見られる傾向としては、女性が三分の二を占め、なかでも五十代の年齢層が突出していることでした。

このことを推測すると今まで家事や育児に追われてきた主婦の方々が、IT講習会を契機に「最新の技術を身に付け、自分なりの生きがいを見つけた」という自発的な意欲を感じ取ることが出来まし

うを休まないでがんばっています。練習はとてきまびしいけれど勝つと気持ちがいいのでいつも勝つようになりたいです。ほくはやせているので力がなと思います。これからは、ご飯をこさず食べて力がつくようになりたいです。来年は六年生なので最後までつづけていきたいです。

また、ITの中でも「電子メールをやりたい」という声も、圧倒的に多く聞かれ、社会に目を向けて友達を増やしたいという目的で電子メールに対する関心が高いことも知りました。

講習会終了後に、受講者全員から無記名でアンケート調査に協力してもらいました。

●楽しく勉強出来た。
●親切に教えてもらった。
●今までの自分と違った世界が広がった。
●今までの自分と違った世界が広がらうな予感。
●などなど、どの回答も充実感や満足感、将来への展望がにじみ出ているような感想がほとんどでした。

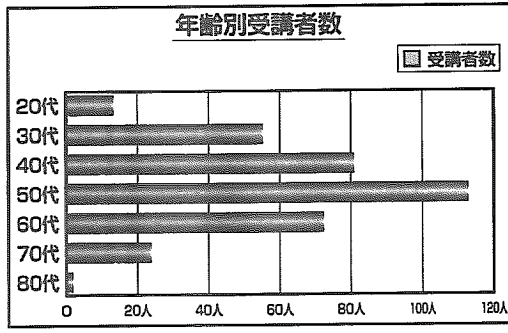
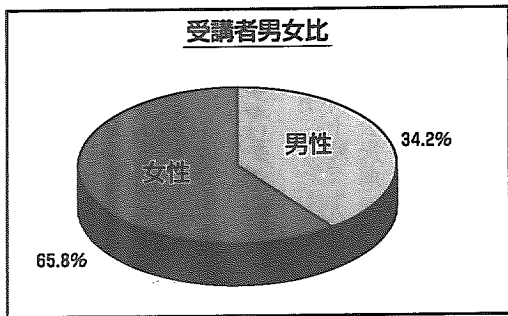
また機会があれば、受講したいと思えますか?
●通信技術ばかりではなく更に

IT講習会の最終日に、主催者側から終わりのあいさつで「実践あるのみです。せっかく覚えたのを忘れないように続けて下さい。」と、励ましの言葉がありました。

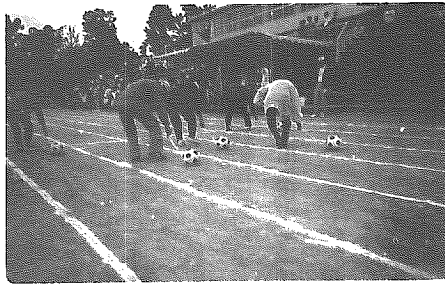
修了した内容を次の発展につなげる事が大切であると思われま

インターネットについて覚えて人が次に何を望んでいるか、それぞれのニーズにあった今後の支援を考えていかなければならないと思います。

こうした学習成果が、地域の活性化に生かされていくような仕組みを整えることができたならば、明るい町づくりにつながると思います。



新保分館運動会 ケツアツレース



山の手運動会 ザルひきレース

新保分館運動会結果報告

九月三十日(日)町民体育館で第二十回新保分館運動会が行われました。成績は次のとおりです。

- 優勝 竹チーム
- 準優勝 菊チーム
- 三位 松チーム
- 四位 梅チーム
- 五位 桜チーム

分館だより

矢代田分館運動会結果報告
九月三十日(日)矢代田小学校グラウンドで第四十九回山の手運動会が開催されました。成績は次のとおりです。

- 優勝 松ヶ丘チーム
- 準優勝 矢代田Bチーム
- 三位 鎌倉チーム
- 四位 矢代田Aチーム
- 五位 天ヶ沢チーム

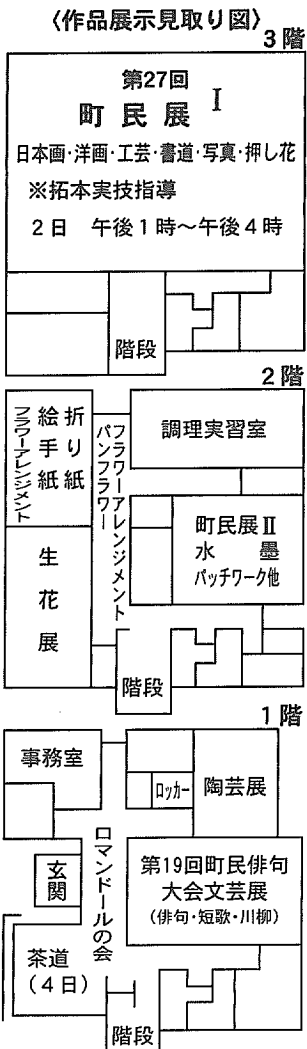
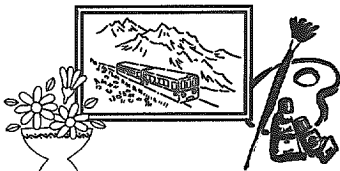
文化の秋、芸術の秋 文化祭

さあ、観て、聴いて楽しんで下さい。

町民展

会期 十二月二日(金)から
十二月四日(日)まで

※展示時間
午前九時～午後九時まで
(ただし、四日は午後四時に閉館)



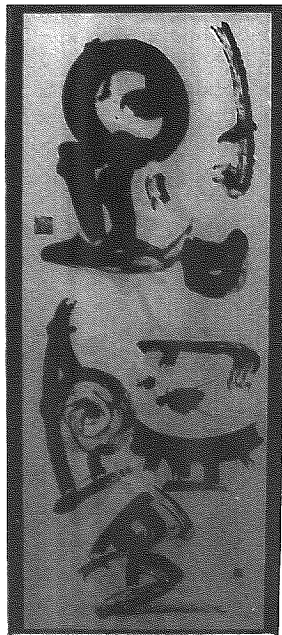
第五十六回
県展入選作品の紹介(4)

「熊寛」



本多 和宏さん(書道)

線に切れ味を出して、二文字の迫力を率直に表現したかったのですが、結果このようになってしまいました。



「うさぎしゃんといっしょ」



風間 正樹さん(写真)

子どもの、お気に入りのおもちゃを持っている時を撮りました。



恒例の「町民展」を

開催いたします

会場 小須戸町中央公民館
主催 小須戸町中央公民館
小須戸町文化協会

募集しています

☆第二十七回町民展作品
☆文芸展作品

サークルや個人、どなたでも出品ができますので、多くの皆様の参加をお待ちします。
詳細は配布済みチラシか
中央公民館へ ☎381-2234

第十七回 芸能祭

ステージへの絶大なご声援をお願いします。

今年も三十以上の芸能団体が一同に勢揃いして、一年間の練習成果を披露いたします。

一芸を追求し、磨きあげられた技能を、ぜひ皆様からご覧いただきたいと存じます。

なお、「子ども樟ばやし」の特別出演や、更には南蒲原郡栄町より芸能団体二組の友好出演など、新鮮で、もりだくさんの出演内容ですので、ご期待下さい。

日時 十一月十一日(日)

午前十時三十分開演
会場 中央公民館三階ホール

出演内容 民謡(唄・踊)
大正琴・カラオケ
詩吟・レクダンス
社交ダンス・沢八
コーラス・華曲など

分館催し物案内

◎矢代田分館「文化祭」

日時 十月二十七日(土)
午前九時～午後九時
◎十月二十八日(日)
午前九時～午後三時

会場 ふれあい会館
※バザー(お菓子)も同時開催。

◎信濃川親水緑地公園 スケートボード大会

当日はプロスケーターが来場し、デモンストレーションを行います。
皆さんふるって参加、観戦願います。(見学は無料です)
主旨 スケートボードの普及を図る。

日時 十月三十一日(日)
午前十一時より受付

会場 小須戸町信濃川親水緑地公園

エントリイ費 五百円(定員四十名)

エントリイ及び問合せ先
・スケートボード大会実行委員会
☎0251-2221-9493(中村・村田)

※雨天の場合は中止です。

◎第十回チャリティー歌謡ショー

日時 十月三十一日(日)
午前十時三十分開演
会場 中央公民館三階ホール

主催 カラオケ広場

◎おはなしのせかいへ(絵本の読み聞かせ)

テレビとは、一味ちがった楽しさを味わってみませんか。
日時 十月二十七日(土)
午後二時～二時三十分

会場 中央公民館・二階和室
対象者 幼児から大人まで
読み手 読み聞かせボランティア
問合せ先 中央公民館

◎おもしろ博士講座 あなたの「お宝相談会」

個人でお持ちの書画・骨とう(古道具や古美術品)等の由来や読み、保存方法などの相談にお答えします。
相談されたい方は、当日も受け付けますが十月末までに公民館へ申し込むと、相談員が事前に資料を調べ、より適切なアドバイスを受けられます。
なお、お宝をお持ちでない方も見学ができますので、大勢の参加をお待ちしています。

日時 十一月九日(金)
午後七時三十分～九時

会場 中央公民館 二階和室
相談員 洲脇五東氏(三条市在住)
三糸市花財保護審議委員会
問合せ 中央公民館

ふれあい電話相談

●教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。
◆十一月の相談日
二十日(金)・九日(日)
二十六日(金)・三十日(日)
◆受付時間
午後一時～五時
◆電話番号
三八一三三〇〇
三八一三三〇〇
◎お名前、言わなくてもいいです。
◎秘密は、固く守ります。

文芸欄

戸袋にひそむもの音夜の秋 間野良遊

還御待つ産土神の古時計 馬場綾子

蕎麦の花遠嶺に雲の懸りけり 坂井隆思

コンバイン吐く豊年の粉の嵩 中野太浪

台風の近づく梯子寝かせ置く 丸山虚秋

朽杭の池辺に雨の花苧蒲 藤井 春

川霧の副堤犬と万歩計 牧野信雄

秋の山登る誘ひの写真かな 須藤恵美子

秋めくやきままに旅立つ老二人 長井武雄

心にも無い世辞言つて汗を拭く 渡辺信子

次男坊裸一貫玉の汗 栗原ひさし

草筆り吹き出す汗に蝉の声 我妻清作

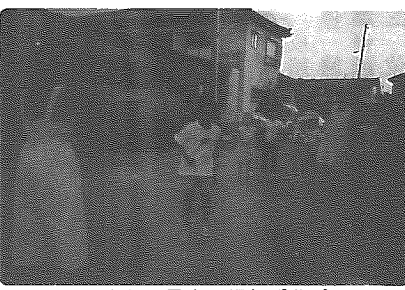
盛況の式場クーラー追いつけず 増井都留

シリーズ 「今、子どもたちは」 (62)

「いろいろな秋」

こすど児童クラブ

「いただきます！」 みんなで食べるおやつは、子ども達の楽しみのひとつです。あつという間に食べ終わると、「パドミントンしよう」とラケットを片手に外へ飛び出して行く子ども達。熱戦が繰り広げられます。
一方では縄とび。「いち・にい・さん……」「〇回とべたよ！」と嬉しそうに報告してくれれます。
そしてまた一方では、チョークで思い思いの絵を描く子ども達。一本のチョークから広がるお話の世界。玄関前のスペースが楽しい絵でうまります。
こんな風に、児童クラブで



みんなで見守る縄とび遊び

～おわび～
九月号の公民館報で、「全国中学校柔道大会」の出場選手名に誤りがありましたのでおわびして訂正いたします。
誤記：大橋憂輝さん 正しい記載：大橋憂騎さん